

手賀沼植生船上調査報告

日時：2021年10月25日（月）10:00～12:00

集合：9:45 親水広場 第2駐車場

使用船舶：みずすまし号 NPO 法人アルバトロスヨットクラブ 古川船長

参加者：県立中央博 林紀男さん、美手連 4名

報告者：小倉久子

第5回 本格駆除エリア経過観察地点の継続調査に合わせて、上沼及び下沼の植生全般について、主にナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエ）・オオバナミズキンバイ（以下、オオバナ）の繁茂・拡散状況、マコモ・ヒメガマなどの在来抽水植物の分布の推移、大減少後のハスの生育状況等について、船上から目視観察を行いました。

以下に、今回の調査で特に気がついたことを記します。

① 我孫子手賀沼漁協棧橋周辺

調査の出航・帰航時に毎回観察します。この場所は、かなり頻繁に駆除されていますが、それでもすぐに元に戻ってしまうようです。



- ・オオバナの勢力が少しずつ拡大しているように感じられます。
- ・右写真のナガエ・オオバナの奥の白っぽい部分は、マコモ？

② 駆除エリアのその後

県が試験駆除・本格駆除を行ったエリアの「その後」です。主に、定点観測地点以外の地点の確認結果です。

【第二機場と花火台の間】※今年度本格駆除（5/11～7/30） 【花火台】※今年度本格駆除



- ・一番最近の駆除地点ですが、早くもテキは反撃を始めています。
- ・花火台周辺は、もっと沖のほうまであった大群落駆除されたため、花火台がだいぶ岸に近づきましたが、これから、また沖のほうに押し出されるのでしょうか。

【手賀沼北岸 根戸新田】※昨年度本格駆除（2021年1/19～2/12）⇒7月下旬再駆除



- ・遠目にはきれいに駆除されているように見えますが、近づくとやっぱり、また再生しています。他所から漂着した群落ではなく、駆除し残した根などからの再生のようにみえました。
- ・沼の中で、時々このような「漂流者（先遣隊?）」に出会いました。

③ 手賀沼全体のナガエ・オオバナ



- ・当然のことながら、大規模駆除をしていないところでは、ナガエ・オオバナがじわじわ増え続けています。2017年に美手連が駆除実験をした柏土木の栈橋のところも、すっかり元通りになってしまいました。



- ・下沼の群落も、じわじわと拡大しているようです。
- ・まだナガエ優勢のようですが、オオバナも見かけるようになりました。

④ マコモ・ヒメガマなどの分布



- ・上沼のマコモは、前面をナガエ・オオバナに攻められながらも、群落を維持していました。



- ・4月の調査時には、下沼のヒメガマ群落の衰退が見られ懸念されましたが、今回は群落の回復が観察されました。ただ、発芽時期が遅れたためか、穂が見当たらず、茎や葉にまだ緑色が残っていました。

⑤ ハス自生地周辺



- ・ハスは木道内で枯れた葉・茎が観察されたほか、周辺の数カ所で、ヨシやナガエに守られる形で確認されました。